



鍵

第74号



担当 3・6年

はじめに

「これから発見することがたくさんあるって素敵だと思わない？」——これは赤毛のアンにある一節です。

晴れて図書部から図書委員会になり、一番最初の活動がこの『鍵』の発行でした。テーマが「一番好きな本」ということで、いつも以上に熱意と愛情の籠もったものになったと思っています。

この『鍵』から、みなさんに素敵な本の発見があれば幸いです。

紹介されている本

アルジャーノンに花束を	3年	菊組	M.S.
かのこちゃんとマドレーヌ夫人			R.Y.
おやすみラフマニノフ		堇組	R.K.
時をかける少女		水仙組	A.H.
ランチのアッコちゃん			S.B.
赤毛のアン	6年	A組	M.S.
星の王子さま			M.O.
武士道セブンティーン		B組	R.M.
幽霊人命救助隊			H.Y.
でかい月だな		C組	S.Y.

アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス 早川書房 93A3/K

この本は何度も映画化やドラマ化をされており、時代を超えて世界中の人に愛されている本です。この本には喜びや悲しみ、幼児同等の知能しかなかった主人公チャーリゴードンの夢が叶ってからの心境の変化、周りの人たちの変化など、様々なことが描かれています。彼の喜び、孤独、幸せとは？などを通して、人生とはどういうことなのか、本当にすべきことはできているのか、もう一度この本を道しるべとして見直してみませんか？



菊 M.S.

かのこちゃんとマドレーヌ夫人

万城目 学 筑摩書房 913.6/M

この本の主人公は小学一年生のかのこちゃんと、ある雨の日にやってきた外国語を話せる猫のマドレーヌ夫人です。かのこちゃんと友達のすすちゃんとの小学一年生らしい会話や行動がとても微笑まいです。全編を通して友達の大切さを気づかせてくれます。かのこちゃんの生活だけでなく、マドレーヌ夫人の不思議な出来事など色々なところで笑えるストーリーがたくさん詰まっています。最後にはほろりとさせてくれますよ。

菊 R.Y.

おやすみラフマニノフ

中山 七里 宝島社 913.6/N



時価2億円のチェロが完全密室の部屋から忽然と姿を消した。物語はこの一文から始まっていきます。この事件を発端に主人公の晶や同じ音大生の初音の身のまわりにも不可思議な事件が起こります。ラフマニノフの曲とともに様々な事実が明らかになっていき、この後の展開にとてもハラハラします。読めば読む程興味がわき、推理していくのが面白くなっていく本です。音楽の絡む一味違ったミステリー、読んでみてはどうでしょうか？

董 R.K.

ランチのアッコちゃん

文庫版も出ました！

袖月 麻子 双葉社 913.6/Y99

この本はある会社の気弱なOLの三智子と「アッコ上司」と呼ばれている冷徹で有能な上司との心の触れ合いを描いた物語です。三智子はお弁当を会社に持ってきており、ある日アッコ上司に「一週間、ランチ取り替えっこしましょう」と言われたところから物語は思わぬ方に展開していきます。三智子の心の成長が細かく描かれていて読みやすい本だと思いました。また、著者の袖月麻子さんは恵泉の卒業生ということも薦める理由です。



水仙 S.B.

時をかける少女

筒井 康隆 角川書店 913.6/T

この本の主人公の和子は、ある日理科室に置いてあった謎の液体のにおいを吸い込んでしまいます。その日から和子は次々と不思議な現象に巻き込まれていき、さらにはタイムワープが出来るようになってしまいます。

私は、何気ない日常が一瞬で変わってしまうことはとても怖いことだと思います。でもこの本を読んで、友人関係や一日一日の大切さに気付かされました。とてもミステリアスなお話です。

水仙 A.H.

星の王子さま

サン=テグジュペリ 岩波書店 953/Sa22

心とした瞬間に読みたくなる本です。自分が何を考えているか、どんな気分なのか、それによって一つ一つの言葉が違うものに見えてきます。王子さまが会う大人たちは、現代の大人たちにも当てはまります。成長していく中で、どんな大人になるべきかということを考えさせられます。キツネや王子さまが発す言葉すべてに意味が込められていて、私たちに様々なメッセージを投げかけてきます。「木箱の中の羊」が見える大人になりたいものです。



6A M.O.

赤毛のアン

L・M・モンゴメリ 訳：村岡 花子 新潮社 93N3/M/1

誰もが一度は耳にしたことがあるであろうこの本。想像力あふれる孤児のアンが、ちょっとした間違いから、美しい島の一軒の家に引き取られ大人の女性へと成長していくお話です。児童文学と思われがちですが、人生を豊かにする言葉がたくさん詰め込まれたとても素敵な本です。読んだらきっと、アンの魅力に惹きつけられ、次巻の『アンの青春』も読みたくなるはず。



アンのしでかす珍事にハラハラしつつ、甘美な村岡訳に浸りながら、この本の世界に想像の翼を広げてみてください。

6A M.S.

武士道セブンティーン

菅田 哲也 文藝春秋 913.6/H84

これは映画にもなった『武士道シックスティーン』の続編で、今作は主人公の早苗の転入先の福岡南高校に舞台が移ります。早苗はそのこのエースの玲南と剣道に対する価値観の違いにより衝突するようになります。

私はこの作品に出会うまで「剣道とスポーツの違い」を意識して考えたことはありませんでしたが、勝敗がつく試合、美しさが求められる型や礼儀に重さが置かれる剣道の様々な面を知り、魅力を感じるようになりました。

6B R.M.

幽霊人命救助隊

高野 和明 文藝春秋 913.6/T

この本は、自殺をして自称神によって集められた4人の幽霊が東京で100人の自殺をしそうな人を救うという話です。その4人もそれぞれに辛い自殺理由があります。読んでみると、世の中の生きづらさを感じると同時に希望や今自分がすべきことなどが少しわかるようになるはず



です。
人の力になりたいと思えるので、4人が自殺をしそうな人たちの力になっていくところを読んで欲しいです。

6B H.Y.

でかい月だな

水森 サトリ 集英社 913.6/M

「でかい月だな」そう言って満月の夜、綾瀬はぼくを崖から蹴り落とした。でも綾瀬はぼくの友達だったんだー。

一生バスケができないけがを負わせて姿を消した友人への怒りと喪失感、憎めない気持ちの間で少年・幸彦は揺れ動きます。中学時代は誰もが感じたであろう、この世界へのやるせない苛立ちや葛藤。この小説を読んだ時私は、その激情はなんだったのか初めて納得できた気がしました。繊細に書かれた少年の心理が涙を誘う、圧巻の青春小説です。



6C S.Y.

2015年5月29日発行

恵泉女学園中学・高等学校信和会図書部



題字：書家 二見 紘子先生

表紙：6C M.M.

裏表紙：堇 S.I.

カット：堇 R.K., 6A M.O., 6C S.Y.

編集：6D M.I., 6E Y.A., 6E Y.K.

印刷：堇 S.I., 堇 R.K., 4B A.M.